

2025 リスク俯瞰工学シンポジウム

リスク情報を活用することで、原子力発電所などの複雑システムを、より安全にすることが可能である。この時、局所的なリスクだけではなく、複雑システム全体が有するリスクを俯瞰的にとらえ、リスクの全体像を把握したうえでの、リスク情報を活用した意思決定 (Risk Informed Decision Making: RIDM)を行う事が重要である。

東京大学大学院工学系研究科では、2018年に社会連携講座「リスク俯瞰工学」を開講し、研究開発と人材育成を進めてきた。7年間の活動をまとめるとともに、今後の「リスク俯瞰工学」の展開を議論するために、シンポジウムを開催する。

開催日時： 2025年8月7日(木) 13:00-17:00

場所： 東京大学 本郷キャンパス 山上会館

参加登録： <https://forms.gle/Yn72CdNucUc6cfpGA>

(当日参加も可能ですが、事前登録いただけますと幸いです)



プログラム

13:00-13:10 挨拶 東京大学大学院工学系研究科 津本浩平 副研究科長

13:10-13:40 招待講演「俯瞰的なリスク評価について」

東京大学 山口彰 名誉教授

13:40-15:40 リスク俯瞰工学講座成果報告

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1) リスク俯瞰工学講座の概要 | 岡本孝司 特任教授 |
| 2) リスク分析手法の高度化とリスク情報活用 | 高田孝 教授(兼任) |
| 3) RIDMの実装と課題 | 成宮祥介 学術専門職員 |
| 4) ソースタームの不確かさ低減 | Pellegrini Marco 客員研究員 |

15:50-16:50 総合討論「リスク俯瞰工学の展開、今後の教育・研究の方向性」

パネリスト 規制庁 村上玄 検査評価室長

ATENA 佐藤拓 理事

電中研 吉田智朗 シニアエキスパート

東京大学 山口彰 名誉教授

東京大学 高田孝 教授

東京大学 成宮祥介 学術専門職員

司会 東京大学 岡本孝司 特任教授

16:50-17:00 まとめと挨拶 東京大学 岡本孝司 特任教授